

◆自由民主党・文部科学部会幼児教育小委員会・幼児教育議員連盟新制度検討チーム合同会議が開かれる

「幼児教育の振興について」の報告を了承

5月26日、東京永田町の自由民主党本部で、自由民主党・文部科学部会幼児教育小委員会、幼児教育議員連盟新制度検討チーム合同会議が開催され、多くの国会議員の先生方にご出席いただき、政府からは文部科学省の担当者が出席しました。

その会議において、山本順三文部科学部会幼児教育小委員会委員長から、同小委員会と幼児教育議員連盟新制度検討チームの合同会議で取りまとめられた「幼児教育の振興について」（3月6日・全日私幼連団体長会・理事会合同会議にて報告・資料配布済み）が報告され、文部科学部会です承されました。

その概要・報告書においては、幼児教育の振興方策として、①幼児教育の質の向上 ②質の高い幼児教育の提供体制の確保 ③幼児教育の段階的無償化の推進 ④幼児教育の充実のための財政支援の充実 ⑤子ども・子育て支援新制度の検証 ⑥「幼児教育振興法（仮称）」の制定の各項目について、国家戦略として政府・与党あげて全力で取り組むべき重要課題であるとして、幼児教育の振興に積極的に取り組むことが必要であるとされております。

今後は、党内に「幼児教育振興法案（仮称）」の検討チームを立ち上げて、早期の法案提出に向けての具体的な動きが開始されることとなると見込まれます。

また、併せて幼児教育の無償化についても引き続き積極的に取り組む旨の言及がありました。

全日私幼連では、香川敬会長を先頭に、「幼児教育振興法（仮称）」の制定と幼児教育の無償化の実現に向けて、引き続き組織の総力を結集し、関係方面に対する要望活動を強力に行ってまいります。また、6月5日（金）の全日私幼連・常任理事会、臨時理事会においても意見を集約し、今後の方向性を具体化してまいります。